

子育て支援者養成講座

NPO 法人 ファミリーステーション Rin

〒470-0134 愛知県日進市香久山1丁目601 Chip in 香久山203号

助成事業の概要

子育て家庭の現状を理解した上で、地域の子育て家庭を「見守り、寄り添い、支える人材育成」のために、子育て支援者養成講座を開催した。（）内は参加者数

【子育て支援者養成講座：基礎講座】

7/23 子育て家庭の現状と家庭福祉…（特非）子育て支援を考える会 TOKOTOKO 理事長 坂鏡子氏（9名）

7/30 保育原理／生活と遊び…名古屋学芸大学教授 渡辺 桜氏（11名）

8/6 子どもの発達と関わり…日進市 保健師 山本美友氏（11名）

8/20 子どもの食事と栄養…日進市 栄養士 出雲 絵梨奈氏（11名）

8/23 小児保健…プライムツリーこどもクリニック 清水 恵子氏（10名）

8/27 配慮が必要なお子さんへの対応…日進市子ども発達支援センターすくすく園 センター長 熊谷 豊氏（13名）

9/5 スキルアップ講習「すくすく園見学」…すくすく園 センター長 熊谷 豊氏（11名）

【子育て支援者養成講座：専門講座 訪問支援者養成講座】

9/12 訪問支援事業の必要性・有効性…愛知県立大学 教授 神谷 摂子氏（8名）

9/19 産前産後の母親の身体と育児について…名古屋記念病院 産婦人科部長 廣中 昌恵氏

（10名）

10/3 母子ケアの重要性と効果…助産師 角 依美氏（8名）

10/10 職業倫理と配慮事項／対人援助の価値と倫理…社会福祉士 牛田由美子氏（9名）

10/18 訪問時の心構え（子どもの世話）…助産師 角 依美氏（9名）

10/24 子育て家庭の理解／支援事業／援助スキル…社会福祉士 牛田由美子氏（9名）

10/25 訪問時の心構え（かかわり方のコツ）…訪問型サポート事業マネージャー（6名）

10/25 沐浴実習…助産師 角 依美氏（6名）

11/13 実践スキルアップ（調理）&交流会…管理栄養士 伊藤 日奈子氏（15名）

【その他】4講座

6/22, 9/7, 12/14 普通救命講習Ⅲ…日進市消防署員（11名, 16名, 16名）

3/20 スタッフ人権研修「親子に寄り添うためのジェンダー研修」 NIED・国際理解教育センター 田口裕晃氏（29名）

事業の成果

一次成果

【子育て支援者養成講座 基礎・専門】

- ・ 受講者数：全科目修了者は基礎講座が6名、専門講座6名であった。いずれの講座も受講者の積極的な姿勢がみられた。
- ・ 講座内容の習得：基礎講座では、現代の子育て事情や育児方法を学び、地域での子育て支

援活動に必要な基礎知識を習得した。専門講座では、出産前後の母子ケアの重要性や訪問支援事業の必要性・有効性について理解を深めたほか、ロールプレイングや実習を通して実践的な専門スキルを身につけた。講師には、小児科医、保健師、管理栄養士、助産師、大学教授、産婦人科医など各分野の専門家を迎えた。

【その他研修】

- ・ 普通救命講習Ⅲ：乳児から中学生程度までの小児を対象とした内容で、心肺蘇生法等学んだ。
- ・ スタッフ人権研修「親子に寄り添うためのジェンダー研修」：性別に縛られず、誰もが生きやすい社会への意識が高まる中、子育て支援の現場に求められるジェンダーフリーの視点を養うための研修を実施し、スタッフ 29 名が参加した。

二次成果

【子育て支援者養成講座 基礎・専門】

- ・ 支援者数の増加：基礎講座受講者のうちファミサポ援助会員への登録が 2 名、当法人のパートナー登録が 4 名あり、地域の多様な活動への参画につながった。専門講座受講者からは 2 名が訪問員としての活動を開始した。また、すでにファミサポ援助会員として活動している受講者が、受講後に支援の幅を広げた事例もみられた。
- ・ 地域での学びの場の定着：今年度は育児休業中の父親が初めて基礎講座を修了したほか、「自分の住んでいる地域で、多様な講座を受講できることが有難い」といった声もあり、地域における学びの場として講座が定着しつつあることがうかがえた。

【その他研修】

- ・ 普通救命講習Ⅲには、支援者に加え、子育て

中の父母や祖父母の参加も多くみられ、地域全体で子どもの安全を守る意識の向上につながった。

- ・ スタッフ人権研修では専門家を迎え、ジェンダーに関する疑問や対応に困るケースを共有しながら、多様化する価値観への理解を深めた。これにより、組織として心理的安全性に配慮した支援体制を構築する一歩となった。

成果の広報・公表

参加者募集と周知活動

本養成講座の参加者募集のため、500 部のチラシを作成し、市民に広く周知を図った。チラシには、講座の全体像や意義、目的、具体的な内容に加え、修了後の子育て支援活動についても案内し、地域の理解者や支援者の参加を促した。

周知方法としては以下の手段を活用した。

- ・ 市の広報誌
- ・ 当団体・子育て総合支援センターの WEB サイト
- ・ 市の公式 LINE
- ・ 公共施設や保育施設等へのチラシ配布
- ・ 子育て総合支援センターでのチラシ配布、案内
- ・ 子育て支援に関わっている方への個別の周知
これらを駆使して、多くの市民に情報を届けることができた。

実施後の報告と広報活動

講座終了後は、実施状況の報告を以下の方法で広報した。

- ・ WEB サイトおよび SNS で実施の様子をリアルタイムで発信
- ・ ニュースレターで「養成・研修事業報告」として基礎講座・専門講座の実施状況を報告
当法人の会員や関係団体、市民の方々に支援者養

成講座の必要性について伝えた。

■ 今後の展開

講座内容や実施方法の検討

2020 年から実施している「子育て支援者養成講座」は、受講者から高い評価を得ており、内容も充実していると考えます。今後も内容の更新を図りながら継続して開催し、地域全体で子育てを支える環境作りに寄与していく。実施方法については、主催者である当法人および講師、受講者が相互に学びあうことを重視し、原則として対面形式で実施している。一方で、平日開催のため受講が困難であるとの意見も見受けられることから、受講者の利便性向上に向け、動画配信等の安全な実施方法も検討を進める。また、救命講習Ⅲについてはニーズが高いことから、従来通り実施していく。スタッフ研修についても、支援の質の向上を目的として研修内容を精査し、計画的に実施する。

広報と効果的な情報発信

地域住民に子育て支援活動を周知するため、従来の紙媒体に加え、SNS や WEB サイト等を活用した情報発信を強化することで、講座および支援活動への関心向上を図る。